幕末の日本、

ペリー来航など

対外危機にさらされる中

ひとりの

オランダ通詞が

ずばぬけた語学力で

日本の危機に

対処しました

オランダ通詞は 専門のオランダ語以外に 急務としていましたが を を ともなっておりましたが

この頃

か交の陰の か交の陰の

たつことは

表舞台に

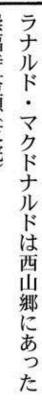
「森山 栄之助」

その名を

1







かくして

崇福寺塔頭(支院)

「大悲庵」に収容されます

日本語を

書きとめております

英語の

学習を

栄之助は、マクドナルドと 人

彼の穏やかな性格と

接する中、

日本語に関心の強いところを

奉行所に願い出ました 「英語学習」の許可を

通詞目付本木昌左衛門目付助 西与一郎を世話役として英語学習グループを結成させ「大悲庵」で「大悲庵」で

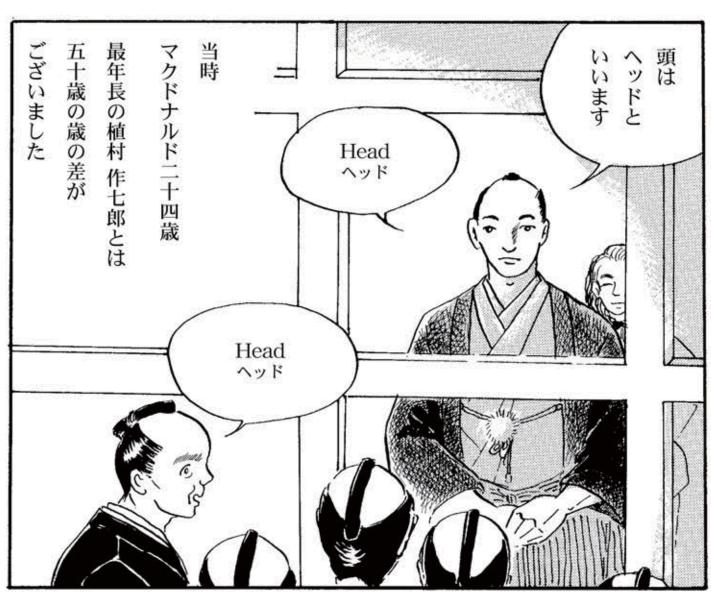
わたしが マクドナルド先生 より聞いた言葉を 発音しますから ひとりずつ復唱 して下さい

稽古を

いたします

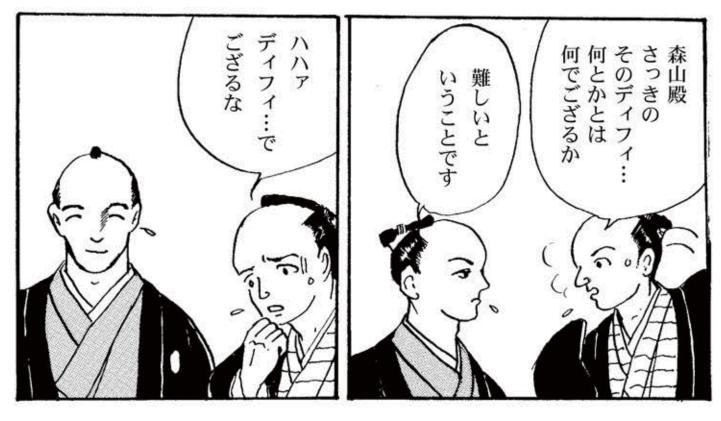
英語の











マクドナルドが

実は

という噂が

長崎に送られた

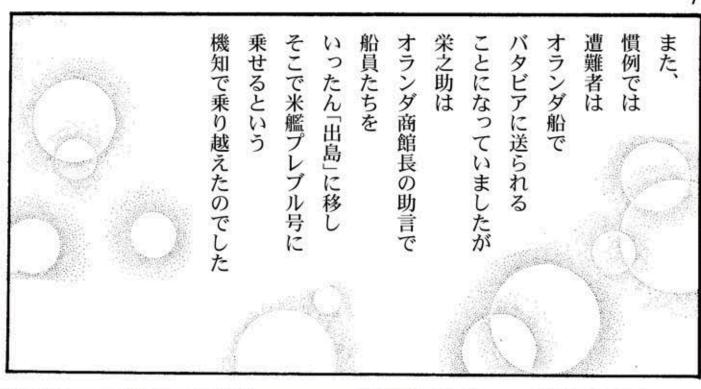


嘉永2年

(一八四九年)



ではないのか







この件で

幕府の

栄之助への信頼は

この後 一気に高まり

外国との交渉には

栄之助を

頼りにするように

なったのでございます

森山 栄之助は

安政元年

(一八五四年)

浦賀に現れた

黒船の総督ペリーとの

交渉の際にも

大役を務めます

幕府御家人に登用され、 森山多吉郎を名乗り、

さらに

安政5年

(一八五八年)

立ち会いました 日米修好通商条約の折にも

そして

マクドナルドも

息をひきとる前に 一八九四年

マイ・ディア 「ソイナラ

言い残したそうです ソイナラ」と 栄之助は

マクドナルドと別れた後も

彼の消息を

アメリカ人に会うたびに

生涯日本を忘れることなく アメリカに戻った 尋ねていたといいます

明治4年

(一八七一年)

森山 栄之助は

激務がたたったのか

横浜で 五十一歳で

息をひきとりました

七ヶ月という短い間でしたが、

栄之助と

国境を越えた

ないでしょうか

二人の絆は

国際交流の原点と

いえるのではないかと思えるのです

